

授業科目(ナンバリング)	MICE 論 (CA225) (実践的教育科目)			担当教員	森尾 真之 (実務経験のある教員)		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	2 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブラーニングの類型
MICE とは企業等の会議 (Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行 (インセンティブ旅行) (Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議 (Convention)、展示会・見本市、イベント (Exhibition/Event) の頭文字を使った造語で、長崎市の出島メッセ長崎や本年開業のスタジアムシティ、そして「グローバル MICE 戦略都市」である福岡市など北部九州における拠点整備が進んでいる。その構造的な特徴として、旅行業・宿泊業など幅広い関連産業への大きな影響が期待される産業であり、「観光立国」のエンジンとして地域観光や経済の活性化に大きく資するビジネス領域に関わる多くの人材が求められている。本講義ではその意義や課題など実務的な知識を専門家の講義を通じた人材育成による事業支援を目的とする。							②⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	日本における産業としての MICE の意義や特徴、推進の現状と課題、そして展望について説明ができる。 MICE の多岐にわたる業務について、それぞれの役割や業務内容を理解することができる。				企画書 レポート	50% 20%	
情報収集、分析力	長崎における MICE の課題について理解し、の自分の意見として指摘することができる。				レポート	20%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	MICE 人材に必要な要素について、自身のスキルとして獲得するための方法について認識できる。				授業参加度・態度	10%	
多様性理解力							
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
架空の想定で設定された国際会議の具体的な運営方法を検討する企画書の評価を 50%とし、自身のアイデアを表現するなどの論述を求める内容で理解度の評価を行う。課題レポートは講義内で数回実施され、MICE 産業に携わる職業観と MICE が地域観光に資する意義を理解しているかどうかを、ポートフォリオからフィードバックとして評価する (40%)。							
授業の概要							
MICE に関する現役の実務家である各分野 (行政、会議運営会社、ホテル、旅行会社、会議施設、イベント企画会社など) の外部講師と旅行業での実務経験のある担当教員との協働による高度な専門的授業で、MICE 産業のすそ野の広さと地域観光への影響の大きさを学び、将来的な専門人材育成につながる学習を行う。 また、本講義と並行して実践型講義「MICE 実習 (1 単位)」が設定される (3 年次履修) この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、180 分とする。							
教科書・参考書							
教科書/参考書：特に定めない。講義中にレジュメなどを配布し使用する。 指定図書：十代田朗『観光まちづくりのマーケティング』 学芸出版社							
授業外における学修及び学生に期待すること							
本講義は会議運営会社の(株)コングレなど外部の関係者に多大な支援を得て実施する講義であり、MICE 関連産業のキャリアを真剣に考えたい学生を対象とするものであり、学習に対して積極的な関心をもって授業に臨むことを期待する。また、各施設や会議運営会社などのインターシップに積極的に参加し、より具体的な業務について理解を深めて、長崎・九州の MICE 産業で活躍できる人材を目指してほしい。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	オリエンテーション	本講義で学ぶ内容を概観する。都市観光におけるMICEのポジショニング、産業としてのMICE推進の現状と課題、展望とPCOをはじめとする関連業務について学ぶ。	復：学習項目の確認
2	MICEと都市観光政策①	「なぜMICEを誘致するのか」我が国のMICE国際競争力の強化とMICE開催地としての認知度向上のためのブランディングとプロモーション方針を学ぶ。	復：都市と地方の観光政策の違いについてまとめる。
3	MICEと都市観光政策②	「都市の魅力をどのように伝えるのか」都市の魅力とは何か。何がその魅力を形づくるのか。欧米や国内の事例、都市のデザインから考える。	予：観光庁HPを確認 復：国内事例をまとめる。
4	MICEと都市観光政策③	「MICEによる街のブランディングを誰がどのように行うのか」MICEを都市の新しいアイデンティティとして、コンベンションビューローによる会議を中心とした機能の向上を目的とした観光政策を学ぶ。	復：各地域のMICE施設を整理する
5	MICEと都市観光政策④	九州内のコンベンションビューローの具体的な事例について学ぶ	予：各PCOのHPを確認 復：プロモーションの特徴をまとめる。
6	MICEと都市観光政策⑤	九州内のコンベンションビューローの具体的な事例について学ぶ	予：各PCOのHPを確認 復：プロモーションの特徴をまとめる。
7	MICEを支える仕事①	MICEに関わるステークホルダー、プレーヤーについてMICEの区分によるそれぞれのビジネスの成り立ちについて学ぶ。	予：MICEの区分について再確認 復：事例をまとめる
8	MICEを支える仕事②(PCO)	【会議運営会社(PCO)①会議誘致(外部講師)】MICEの誘致におけるPCOの重要な役割について学ぶ。日本におけるMICE市場の現状や誘致提案などに触れ、いかに主催者や参加者のニーズをくみ取るかを考える。	復：ホテルにおけるMICEの業務について整理する。
9	課題レポートの説明	架空の想定で設定された国際会議の具体的な運営方法を検討する企画書を作成する課題についての説明。	復：課題の概要を確認する。
10	MICEを支える仕事③(会議場)	【福岡国際会議場】九州のMICEの中心地である福岡コンベンションセンターの施設概要と今後の展望について学ぶ(オンライン講義)	復：施設の概要についてまとめる
11	MICEを支える仕事④(ホテル)	【ホテル(外部講師)】MICEの実施に当たり、ホテルは宿泊機能のみならず、会場としての役割や飲食サービスなど、サプライヤーとして様々な役割を担っていることを学ぶ。	復：出島メッセ長崎の差別化できるポイントをまとめる
12	MICEを支える仕事⑤(旅行会社)	【旅行会社<法人営業・EC部門>】MICEにおける旅行会社の役割や機能と、PCOとの役割分担・連携について学ぶ。	予：長崎DMOのHP確認 復：長崎でのレガシィを創出できる会議について考える。
13	MICEに関する仕事⑥	求められる人物像とはどういう要素を持っているかを学ぶ。国際的な仕事がしたい、日本の良さを紹介したい、創作的な仕事がしたいなどの希望を具体化するための方向性について学ぶ。	復：MICEの仕事における役割を整理する。
14	イベントの企画と運営	各地域に広がる参加型スポーツイベントの企画・運営の実態を学ぶ(外部講師)。	復：スポーツイベントやキャンプの実態をまとめる
15	企画発表会	あらかじめ選抜された発表者による企画書課題のプレゼンテーションと講義の総括	復：一番良かったと思う発表とその理由をまとめる